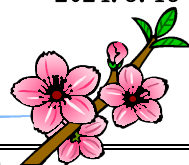


かがやく 瞳



昨日は「みらい学年」の卒業式でした

昨日の3月14日（木）、みらい学年15名の卒業式が行われました。

卒業式練習は、これまでの子どもたちの生活の様子や朝の歌の響きから、予備として練習時間は確保してありましたがそれを使わずに、本番を迎えることにしました。卒業式練習を終えて、先生達からは不安の声は全くありませんでした。「本番もしっかりやれる。」と先生達は子どもたちを信じていました。

卒業式の歌、立ち居振る舞い、座っている姿勢は本当に素晴らしいものでした。特に校歌をはじめとする歌には、こみあげてくるものがありました。気持ちを込めて歌っていることがビンビン伝わってきました。卒業生と在校生の思いが呼びかけの言葉や歌になって体育館の真ん中で響き合いました。

卒業式はその学校の教育の集大成と言われます。「本当にそうだなあ。」といつも思います。そして昨日も同じことを強く感じた1日でした。

卒業する15人と在校生が今まで織りなしてきた結び付きが表現された卒業式でした。縦割り班で行ってきた行事・清掃、登校班での登校、休み時間の交わりなど、それらがあって昨日の卒業式になりました。ご臨席いただいた皆様から、素晴らしい式だったと言ってもらいました。有り難いことでした。

新しい春がやって来ます。今年度も登校日をあと3日残すのみとなりました。卒業生がいない学校は少しさびしい感じがしますが、子ども

たちは益々元気です。大仕事を終えた充実感がその元気の元となっているようです。



【歌「最後のチャイム」を合唱する卒業生】

教室・学校との別れ

～「ありがとう」の響き合い～

門送りの様子

白黒で鮮明ではないのですが、卒業式後のあたたかい雰囲気を感じていただけると有り難いです



【堂々の入場です】



【3年生のエールで門送り】



【四方八方から手が出て握手攻め】